

静岡県農林水産業の概要

特徴・取組

静岡県は東西約155km、南北約118km、約7,777km²の面積を有し、南側には太平洋に面する約500kmの海岸線を、北側には3,000m級の山々からなる山岳地帯を有している。平年値をみると、平均気温は概ね16～17℃と温暖で、降水量は1,800～2,300mmと、全般的に温暖な海洋性気候である。冬は乾燥した晴天の日が多く、雪は平地ではあまり降らない。

産業構造は、県内総生産（令和4年度：18兆8,590億円）を産業別にみると、第1次産業が1,214億円（0.6%）、第2次産業が8兆3,008億円（44.0%）、第3次産業が10兆4,395億円（55.4%）となっている。

農業では、代表的な農産物である茶とみかんのほかにも温室メロンやいちご、ガーベラ等、多種多様な農産物が栽培されている。林業では、天竜川流域のスギやヒノキ、伊豆地域の広葉樹林など、豊かで多彩な森林が広がり、わさびやきのこの生産も盛んである。水産業では、かつお、まぐろ、しらす、さくらえび、きんめだい、内水面でのうなぎ、にじますの養殖など、多種多様な水産物が水揚げ・生産されており、水産加工業も盛んである。

全国や海外に誇りうる価値や特長を備えた県産農林水産物を「しずおか食セレクション（頂）」として認定し、県産農林水産物の魅力を活かした新しい加工品を「ふじのくに新商品セレクション」として表彰するなど、農林水産物及びその加工品の付加価値向上を推進している。

また、ふじのくにマーケティング戦略の海外戦略5品目（茶、いちご、わさび、温室メロン、日本酒）を中心とした県産品の輸出促進に取り組んでいる。

- ・世界農業遺産として、平成25年5月に「静岡の茶草場（ちゃぐさば）農法」、平成30年3月に「静岡水わさびの伝統栽培」が認定されている。
- ・特色ある食文化を活用して訪日外国人観光客の誘致に取り組む「SAVOR JAPAN（農泊 食文化海外発信地域）」として、大井川地域や浜松・浜名湖地域、富士山麓・伊豆半島地域が認定されている。
- ・地理的表示（GI）保護制度については、平成28年10月に「三島馬鈴薯」、平成29年6月に生の「田子の浦しらす」、令和2年11月に「西浦みかん寿太郎」、令和3年3月に釜揚げした「田子の浦しらす」、令和5年3月に「深蒸し菊川茶」が登録産品となり、令和5年11月には静岡県の清酒も登録された。

主な農林水産物

茶

県内各地に有名産地があり、様々なブランド茶が生産されている。県の海外向け重点品目。
（荒茶生産量全国2位）



ガーベラ（切り花類）

全国の出荷量の約4割を占める大産地。花卉が大きく華やかで色の種類や品種数が多い。
（出荷量全国1位）



温室メロン

メロンの中でも最高級品である温室メロンは収穫量日本一。ガラス温室で栽培されている。県の海外向け重点品目。
（収穫量全国1位）



鶏卵

富士山麓地域に大規模養鶏場があり、県内における農業産出額は第1位。
（産出額全国10位）



しらす

漁場と市場が近いので鮮度が良く、「生しらす」としても出荷されている。
（漁獲量全国5位）



みかん

温暖な気候を生かした柑橘類の栽培が盛んで、青島みかんなどが栽培されている。
（収穫量全国3位）



わさび

わさび栽培発祥の地で、産出額は全国1位。澄んだ辛味と清らかな香りが持ち味。県の海外向け重点品目。
（生産量全国1位）



いちご

静岡県生まれの品種「紅ほっぺ」「きらび香」が主に生産されている。県の海外向け重点品目。
（収穫量全国5位）



かつお・まぐろ類

遠洋漁業や沖合漁業で獲れたかつおやまぐろが水揚げされ、加工品の原料としても利用されている。
（かつお類：漁獲量全国1位）
（まぐろ類：漁獲量全国1位）



さくらえび

国内では駿河湾だけで漁獲される特産品である。
（漁獲量全国1位）



静岡県内の各地域における農林水産物

西部地域

【農産物】茶、みかん、水稻、ガーベラ(切り花類)、ちんげんさい、セルリー、菊(切り花類)、ばれいしょ、たまねぎ、葉ネギ、かんしょ、ネーブルオレンジ、みつば、切り枝(切り花類)、切り葉(切り花類)、観葉植物(鉢もの類)

【林産物】しいたけ

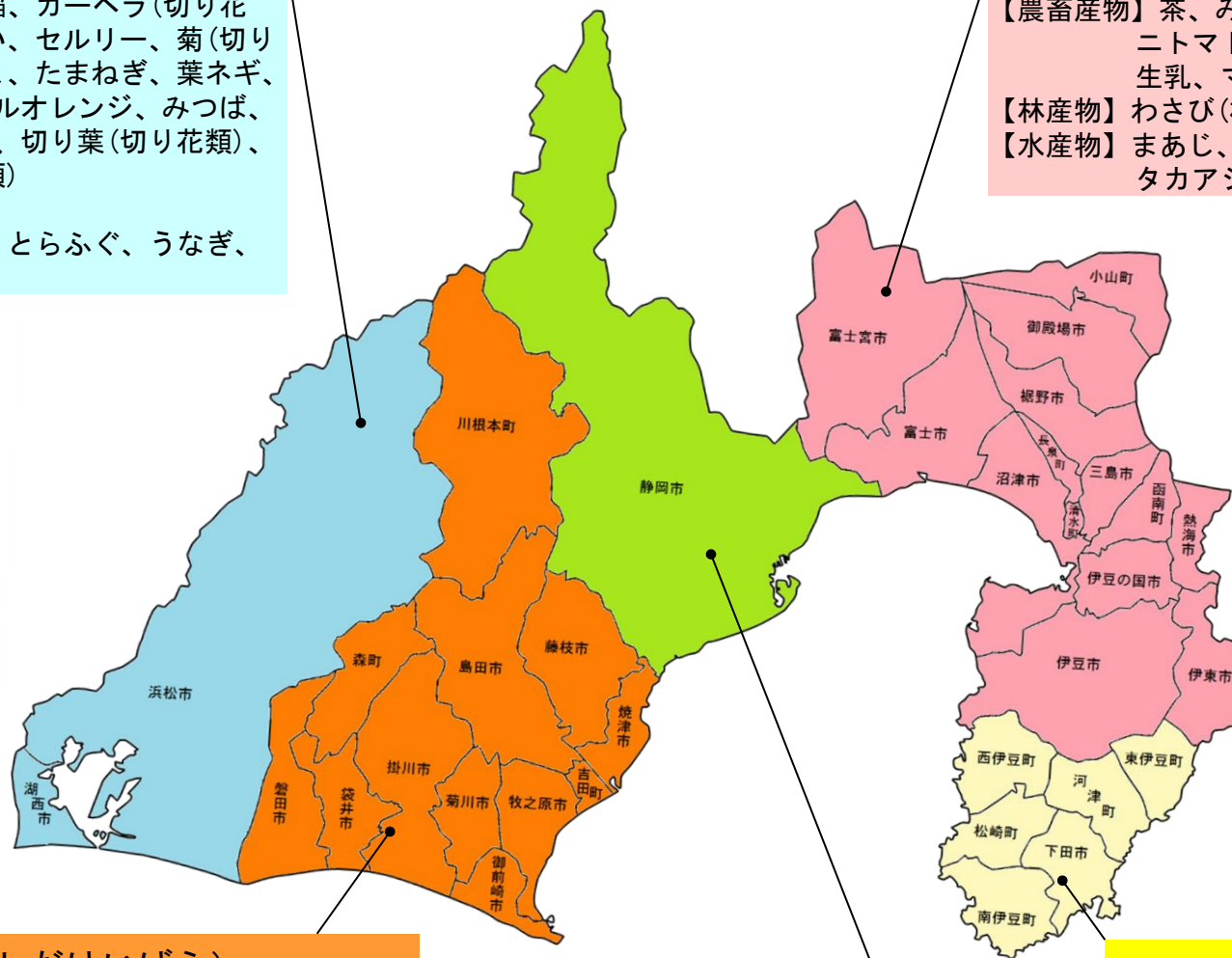
【水産物】あさり、しらす、とらふぐ、うなぎ、生のり類(養殖)

富士・東部地域

【農畜産物】茶、みかん、水稻、いちご、トマト、ミニトマト、ばれいしょ(三島馬鈴薯)、鶏卵、生乳、マーガレット(鉢もの類)

【林産物】わさび(根茎、葉柄)、しいたけ

【水産物】まあじ、まだい、にじます(養殖)、しらす、タカアシガニ



志太榛原(しだはいばら) ・中遠(ちゅうえん)地域

【農産物】茶、水稻、いちご、温室メロン、トマト、レタス、しそ、ガーベラ(切り花類)、ちんげんさい、ばら(切り花類)、トルコギキョウ(切り花類)、観葉植物(鉢もの類)、花木類(鉢もの類)

【林産物】しいたけ

【水産物】かつお、まぐろ、しらす、とらふぐ、うなぎ

中部地域

【農産物】茶、みかん、いちご、ばら(切り花類)、洋ラン類(切り花類)

【林産物】わさび(根茎、葉柄)

【水産物】まぐろ、さくらえび、しらす

賀茂(かも)地域

【農産物】マーガレット(切り花類)、カーネーション(切り花類)、ヒュウガナツ(日向夏)

【林産物】わさび(根茎、葉柄)

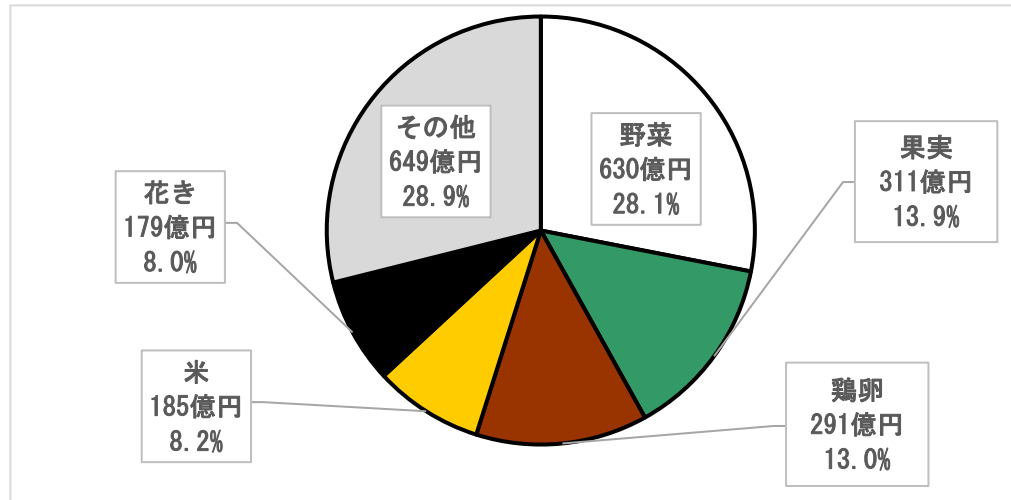
【水産物】いせえび、てんぐさ、きんめだい

出典:「静岡県の農林水産業」(静岡県)、
「静岡県産農芸品カタログ『食材の王国』」(JA静岡経済連)を基に作成

静岡県 の 農 業 (1)

- ・ 農業産出額は2,245億円で全国15位。うち米が185億円（8.2%）、野菜が630億円（28.1%）、畜産が637億円（28.4%）。
- ・ 農畜産物の生産状況は、ガーベラが全国1位、茶（生葉）（主産県）、茶（荒茶）（主産県）、セルリー、ちんげんさいが2位、みかんが3位。

農業産出額の概略



農畜産物の生産状況

区 分		年次	静岡県	全 国	全国順位
茶（生葉）（主産県）	収穫量	R6	119,500 t	319,300 t	2
茶（荒茶）（主産県）	生産量	R6	25,800 t	66,900 t	2
セルリー	収穫量	R5	4,990 t	28,700 t	2
ちんげんさい	収穫量	R5	7,000 t	38,700 t	2
いちご	収穫量	R5	10,600 t	161,800 t	5
メロン	収穫量	R5	5,760 t	145,200 t	8
みかん	収穫量	R5	99,800 t	681,600 t	3
みつば	収穫量	R5	1,200 t	13,100 t	4
ガーベラ	出荷量	R5	49,400 千本	119,900 千本	1
鶏卵	生産量	R6	96,294 t	2,480,663 t	11

出典：「作物統計」、「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「花き生産出荷統計」、「畜産物流通統計」

農業産出額のデータ

区 分	静岡県の農業産出額	全国の農業総産出額	全国順位
農業産出額	2,245 億円 (100.0)	94,952 億円 (100.0)	15
米	185 億円 (8.2)	15,193 億円 (16.0)	28
麦類	x 億円	678 億円	- *
雑穀	0 億円	77 億円	35
豆類	0 億円	572 億円	40
いも類	31 億円	2,301 億円	9
野菜	630 億円 (28.1)	23,243 億円 (24.5)	14
果実	311 億円 (13.9)	9,590 億円 (10.1)	9
花き	179 億円	3,522 億円	4
工芸農作物	120 億円	1,467 億円	4
その他作物	x 億円	585 億円	- *
畜産	637 億円 (28.4)	37,212 億円 (39.2)	16
肉用牛	90 億円	7,696 億円	24
乳用牛	111 億円	9,249 億円	12
生乳	106 億円	8,310 億円	11
豚	62 億円	7,194 億円	25
鶏	334 億円	12,033 億円	15
鶏卵	291 億円	7,413 億円	10
ブロイラー	33 億円	4,471 億円	22 *
その他畜産物	39 億円	1,041 億円	3
加工農産物	104 億円	513 億円	1

出典：「令和5年農業総産出額及び生産農業所得（全国）」、「令和5年農業産出額及び生産農業所得（都道府県別）」
注：（ ）は農業総産出額及び農業産出額を100%とした割合である。

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方

・令和7年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用

・表中に使用した記号は次のとおり

「O」：単位に満たないもの（例：0.4t→0t）

「-」：事実のないもの

「…」：調査を欠くもの

「x」：秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。

「*」：秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順位

静岡県 の 農 業 (2)

- ・耕地面積は5万8,300haで全国22位。うち田が2万1,100ha、畑が3万7,200ha。
- ・農業経営体数は2万5,938経営体で全国20位。うち法人経営体が634経営体で21位。
- ・市町村認定及び都道府県認定経営体数は4,523経営体で全国20位。うち法人数が587法人で20位。
- ・農業生産関連事業は、農産加工の年間販売（売上）金額が634億円で全国2位、事業体数は1,370事業体で3位。

耕地面積

区 分	静岡県	全 国	全国順位
耕地面積	58,300 ha	4,272,000 ha	22
田	21,100 ha	2,319,000 ha	36
畑	37,200 ha	1,952,000 ha	11
普通畑	14,200 ha	1,118,000 ha	19
樹園地	21,800 ha	248,600 ha	1
牧草地	1,140 ha	585,900 ha	14
参考) 総土地面積	7,777.01 km ²	377,975.68 km ²	13

出典：「令和6年耕地面積(7月15日現在)」、「令和7年全国都道府県市区町村別面積調(1月1日時点)」(国土交通省国土地理院)

荒廃農地面積

区 分	静岡県	全 国	全国順位
荒廃農地面積	7,074 ha	256,676 ha	15

出典：「令和5年度の荒廃農地面積(令和6年3月31日現在)」

農業経営体数、総農家数及び集落営農数

区 分	静岡県	全 国	全国順位
農業経営体数	25,938 経営体	1,075,705 経営体	20
法人経営体	634 経営体	30,707 経営体	21
総農家数	50,736 戸	1,747,079 戸	9
販売農家	24,426 戸	1,027,892 戸	20
参考) 世帯総数	1,483,472 世帯	55,830,154 世帯	10
集落営農数	35 集落営農	13,998 集落営農	40

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「令和6年集落営農実態調査結果(令和6年2月1日現在)」

担い手への農地の集積状況

区 分	静岡県	全 国	全国順位
担い手への集積面積	26,997 ha	2,593,345 ha	23
集積率	45.4 %	60.4 %	21

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和5年度版)」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区 分	静岡県	全 国	全国順位
基幹的農業従事者数	38,720 人	1,363,038 人	13
男	22,161 人	822,144 人	17
女	16,559 人	540,894 人	11
65歳以上	27,326 人	948,621 人	13
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	70.6 %	69.6 %	-
国、市町村認定及び都道府県認定経営体数	4,523 経営体	216,784 経営体	20
法人数	587 法人	29,128 法人	20
参考) 人口総数	3,633,202 人	126,146,099 人	10

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和6年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

農業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	静岡県	全 国	全国順位
農産加工	総額 63,387 百万円 事業体数 1,370 事業体	999,786 百万円 27,760 事業体	2 3
農産物直売所	総額 42,072 百万円 事業体数 1,010 事業体	1,126,420 百万円 21,240 事業体	7 3
観光農園	総額 1,748 百万円 経営体数 170 経営体	37,281 百万円 5,050 経営体	7 11
農家民宿	総額 69 百万円 経営体数 20 経営体	5,352 百万円 1,140 経営体	20 * 14
農家レストラン	総額 788 百万円 事業体数 50 事業体	39,434 百万円 1,360 事業体	21 * 3

出典：「令和5年度6次産業化総合調査結果」

静岡県林業

- ・林業産出額は115.5億円で全国11位。うち木材生産が43.0億円、栽培きのこ類生産が72.2億円。
- ・林産物の生産状況は、素材生産量が全国23位、わさび根茎が全国1位、まいたけが2位、わさび葉柄が3位。

林業産出額

区 分	静岡県	全 国	全国順位
林業産出額	115.5 億円	5,562.5 億円	11
木材生産	43.0 億円	3,257.0 億円	21
栽培きのこ類生産	72.2 億円	2,199.2 億円	5

出典：「令和5年林業産出額」

林産物の生産状況

区 分	静岡県	全 国	全国順位
素材生産量	312 千m ³	20,647 千m ³	23
針葉樹	311 千m ³	18,926 千m ³	21 *
すぎ	145 千m ³	11,917 千m ³	22
ひのき	154 千m ³	3,180 千m ³	7 *
広葉樹	1 千m ³	1,721 千m ³	39 *
まいたけ	生産量 4,831 t	55,290 t	2 *
ぶなしめじ	生産量 3,026 t	117,924 t	6 *
わさび根茎	生産量 230 t	356 t	1 *
わさび葉柄	生産量 232 t	1,028 t	3 *

出典：「令和5年木材統計」、「令和5年特用林産基礎資料」

林野面積

区 分	静岡県	全 国	全国順位
林野面積	493,121 ha	24,770,201 ha	16
国有林	85,325 ha	7,153,338 ha	16
民有林	407,796 ha	17,616,863 ha	16
人工林面積	278,162 ha	10,133,111 ha	10

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

林業経営体数

区 分	静岡県	全 国	全国順位
林業経営体数	837 経営体	34,001 経営体	16
法人経営体	103 経営体	4,093 経営体	14

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

製材工場数

区 分	静岡県	全 国	全国順位
製材工場数	138 工場	3,749 工場	4
製材用素材の入荷があった工場数	138 工場	3,722 工場	4
国産材のみ	107 工場	3,116 工場	7
国産材と輸入材	17 工場	511 工場	11

出典：「令和5年木材統計」

静岡県漁業

- ・漁業産出額のうち、海面漁業・養殖業産出額は540億円で全国8位。
- ・水産物の生産状況は、海面漁業のきはだ、かつおが全国1位、海面養殖業のまあじ、生のり類が1位、内水面養殖業のうなぎが4位。
- ・漁業生産関連事業は、漁家民宿の年間販売（売上）金額が4億円で全国2位、経営体数は50経営体で2位。

漁業産出額

区 分	静岡県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	540 億円	15,265 億円	8
海 面 漁 業	511 億円	9,534 億円	4
海 面 養 殖 業	30 億円	5,731 億円	23

出典：「令和5年漁業産出額」

漁業経営体数

区 分	静岡県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	1,714 経営体	65,662 経営体	15
内水面漁業経営体数	101 経営体	4,076 経営体	10

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁業就業者数

区 分	静岡県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	3,753 人	121,389 人	12
男	3,644 人	109,757 人	9
女	109 人	11,632 人	20

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁船隻数

区 分	静岡県	全 国	全国順位
漁船隻数	2,261 隻	109,283 隻	19
動力漁船	1,389 隻	58,906 隻	18

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

水産物の生産状況

区 分	静岡県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	147,353 t	3,777,921 t	4 *
海面漁業漁獲量	144,710 t	2,926,411 t	5
きはだ	13,780 t	57,969 t	1 *
かつお	56,969 t	192,219 t	1 *
海面養殖業収穫量	2,643 t	851,509 t	24 *
まあじ	244 t	532 t	1 *
生のり類	435 t	1,714 t	1 *
内水面漁業・養殖業生産量	3,528 t	51,908 t	5 *
内水面漁業漁獲量	1 t	21,567 t	37 *
あゆ	1 t	1,697 t	27 *
内水面養殖業収穫量	3,527 t	30,341 t	4 *
うなぎ	2,268 t	18,341 t	4 *

出典：「令和5年漁業・養殖業生産統計」

漁業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	静岡県	全 国	全国順位
水産加工	総額	1,156 百万円	179,159 百万円
	事業体数	40 事業体	1,220 事業体
水産物直売所	総額	1,515 百万円	34,988 百万円
	事業体数	40 事業体	810 事業体
漁家民宿	総額	422 百万円	5,389 百万円
	経営体数	50 経営体	540 経営体
漁家レストラン	総額	683 百万円	13,249 百万円
	事業体数	30 事業体	380 事業体

出典：「令和5年度6次産業化総合調査結果」

静岡県の農林水産業の話題等

緑茶輸出額、過去最高額更新

令和6年の日本の緑茶輸出額は前年比24.6%増の364億円で、5年連続で過去最高額を更新。県内においても、特に有機の粉末茶の需要が伸びていることなどから、近年輸出額は増加。令和5年の輸出額は67.6億円と、静岡県が掲げる令和7年までの目標額(58億円)を前倒しで達成している。

この現状に対し県は、茶業関係団体と金融機関等による戦略的な海外展示会への出展等を支援する「静岡茶海外戦略展開支援事業」や、世界に通用する静岡茶の統一ブランドの形成を目指す「静岡茶リブランディングプロジェクト」、輸出需要に応じた品質・量の安定的な生産に向け茶商・茶工場・生産者が連携し輸出拠点を作る「拠点化計画」などを展開し、静岡茶のさらなる輸出拡大を後押しする。

「西浦みかん寿太郎」ドローンによる薬剤散布実証試験を開始

JAふじ伊豆は、沼津市西浦地区で栽培する「西浦みかん寿太郎」を対象に、県・沼津市・JA静岡経済連・JA全農・KDDI(株)と連携し、令和6年5月からドローンによる薬剤散布実証試験を開始。同地区では、担い手の減少や生産者の高齢化が進む中、傾斜地での作業負担軽減が課題であった。

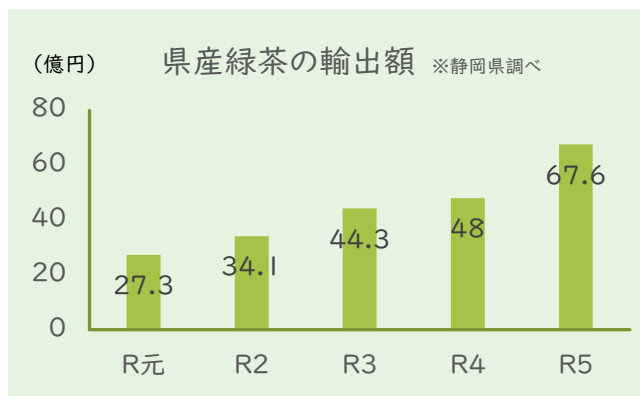
令和6年12月までに行った試験からは、作業時間については手散布の20分の1程度まで短縮可能であること、薬剤の付着量については手散布と同等であることが確認できた。しかし、みかん収穫後、果実の病害虫被害果率と貯蔵中に発生する腐りについても検証を行った結果、病害虫の発生率は手散布よりも高い値となり、樹の内部の葉や枝が重なる箇所には薬剤が付着しにくいという課題点も明らかになった。そのため、今後は薬剤の付着性の向上を目指し、樹の3方向にスリットを入れて株元がよく見える仕立て方の「縦開窓樹形(たてかいそうじゅけい)」を導入し、ドローン防除に適した園地に改造していく。

和栗の魅力を世界へ「遠州・和栗プロジェクト」

令和4年7月、有限会社春華堂は、掛川栗をはじめとした日本各地の和栗の魅力を世界へ発信するため「遠州・和栗プロジェクト」を発足。プロジェクトには、行政やJAを含む多数の企業・団体が参画し、役割ごとに5つの部会(生産部会、研究部会、技術部会、イベント・商品部会、広報・人事部)を構成。各自の得意分野を活かしつつ官民一体となり、世界に通用する「WAGURI」ブランドの創出と和栗を通じた持続発展型の地域づくりを目指す。

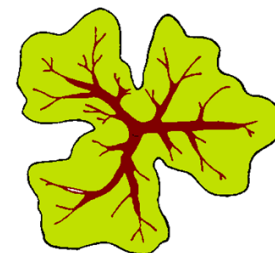
プロジェクトはこれまで、勉強会や収穫祭、試食会、植樹祭、フォーラムなど多数のイベントを実施。なかでも、令和6年9月には、各国の大使館関係者などを招いて「タざりの和栗茶事2024」を開催し、茶の湯と和栗を使った懐石料理で和栗のブランド価値を海外へアピールした。

令和7年2月には、「一般社団法人和栗協議会」を立ち上げ、異業種、世代、地域を越える共創で、和栗産業の再興と地域活性化に取り組んでいく。



手散布と比較しても十分な薬剤の付着量を確認。

縦開窓樹形の図
(山口県柑橘振興センター開発)



画像・写真提供：JAふじ伊豆



「タざりの和栗茶事2024」には総勢60名のゲストが参加。県知事や自治体の首長らも参加した。

ロゴマーク(栗の家紋と富士山や遠州灘をイメージ)

画像・写真提供：有限会社春華堂